

[chiba\_14]

活動タイトル	恵庭市の「うちエコ診断」フリーペーパーに掲載
実施日	2017年10月31日
場所	恵庭市民会館（恵庭市）
対象数	
内容	<p>10月31日（火）に恵庭で行われたうちエコ診断を行いました。今回のうちエコ診断は、“申込者に事前アンケートを取って、それを元に診断を行う” いわゆるフルバージョンのうちエコ診断です。</p> <p>わたしが担当した女性は、オール電化住宅にお住まいで、太陽光発電も行っています。それでも冬場の電気料金が約6万円と高いため、相談にいらっしゃいました。「月々の光熱費をノートにつけ、室温もギリギリまで下げて、いろんな工夫をしているのに減らない」とお悩みでした。この文章だけ読むと「すごく電気代が高い」と思われるかもしれませんが、このお宅はガスや灯油を全く使っていません。寒冷地である北海道の一般的な戸建てで、電気代が約1万5千円。これに別途灯油やガス代がかかって合計4～5万円となることも珍しくありません。</p> <p>しかも、北海道では、まだ珍しいエアコンで、暖房費が節約できるか試していたことにビックリ。あまり、アドバイスすることがないほど見事な省エネの見本となる方でした。そんなやりとりを千歳・恵庭の情報誌「ちゃんと」の編集者が一部始終取聞い、記事になりました。</p>

実施写真等

ちゃんと 2017年11月17日(金) 4

**わら版 恵庭**

環境省が推進する家庭の省エネを考える「うちエコ診断」(恵庭市生活環境部主催)が10月31日、恵庭市民会館で開催されました。NPO法人北海道省エネまちづくり協会(千葉英樹代表、札幌市に所属する環境省

環境省が推進する家庭の省エネを考える「うちエコ診断」(恵庭市生活環境部主催)が10月31日、恵庭市民会館で開催されました。NPO法人北海道省エネまちづくり協会(千葉英樹代表、札幌市に所属する環境省

家でできる省エネテクニクを診断士がアドバイス!

**うちエコ診断**

認定の「うちエコ診断士」が、省エネにつながる家電や暖房機器の使用方法を診断する。戸建住宅の家庭を中心に17組が参加しました。

市内黄金南の大西公美さん(40歳)は「節電のために様々な対策をしているが、なかなか電気代が下がらない。何が間違っているのか、今日は徹底的に教えて欲しい」と参加理由を話していました。大西さんは冬場に電

気が増えることから、駐車場の除雪をこまめに行つてロードヒーティングをなるべく使わないことや、断熱効果の高いカーテンを使用するなどの対策をしていると説明。専用ソフトを使用して診断した千葉代表は「事前にいただいた情報は分析すると、大西さんは100軒中60位」と指摘。オール電化住宅であり、家族構成を考慮すると良い成績であるとの診断をしました。また、設置されているエアコンを昼夜問わず、フル稼働することをすすめていました。

理由について千葉代表は「エアコンは、低温の早朝から急に室温を上げる運転をすると電気を多く消費する傾向がある。なるべく低い温度設定で24時間フル稼働してみよう」と一度試してみよう(さい)とアドバイスをしていました。

(編集部 伊藤)

(千歳恵庭の生活情報紙「ちゃんと」2017年11月17号より)